

普及活動情勢報告（令和7年6月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

人手不足をなんとかしたい！！ ～ミョウガ部会の特定技能外国人に関する勉強会～



勉強会での活発な
意見交換

5月19日、安芸総合庁舎でＪＡと農業改良普及課が登録支援機関を招き、特定技能外国人に関する勉強会を開催し、管内のミョウガ生産者8人が参加しました。

農業改良普及課は、労働力不足が顕著になっているミョウガ生産者から、早急な対応が必要という声を受けて登録支援機関に相談し、勉強会を設定しました。また、生産者の労働力確保に関する知識向上を図りました。

登録支援機関からの説明を受けて参加者からは、「活用できる方法を考えたい」、「検討してみたい」と雇用に前向きな意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も生産者の労働力確保対策を支援していきます。

オクラの品質・収量UPに向けて ～オクラ現地検討会～



栽培管理の説明をする
普及指導員

5月28日、30日に安田町、北川村、奈半利町のオクラ栽培ほ場4ヶ所でＪＡと農業改良普及課が現地検討会を開催し、ＪＡ中芸集出荷場オクラ部会の生産者延べ31人が参加しました。

農業改良普及課は初期の栽培管理や熱中症対策について説明しました。

生産者からは「現地検討会では実物で草勢が見れるのでわかりやすい」、「出荷が始まったのでSAWACHIで収量を確認している」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もオクラ生産者の収量増大に向けて、栽培技術支援や情報提供を実施していきます。

理想の樹形を目指して ～ユズ講座（幼木の誘引）～



誘引を実演する
普及指導員

6月1日、安芸市のユズ園地でＪＡ高知県安芸地区柚子部がユズ講座を開催し、部員17人が参加しました。

農業改良普及課は、幼木の誘引方法などについて説明し、誘引や剪定を実演しました。

参加者からは、誘引紐の結び方や幼木の着果量の目安などに関する質問がありました。また、誘引する枝や剪定で除ける枝などについて活発に議論しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して講習会や勉強会を実施し、安定したユズの収量確保に向けて支援していきます。

就農に向け農業に触れてみよう！ ～ナス収穫体験～



収穫を支援する
普及指導員

6月15日、安芸市でJA高知県営農企画課が主催するナス収穫体験が開催され、県内外から就農希望者7人が参加しました。

農業改良普及課は、新規就農者との意見交換の調整、研修事業の説明等を行いました。

参加者からは「実際に体験できるイベントはありがたい」、「ナスで就農するイメージが湧いた」などの声が聞かれました。

今後も農業改良普及課は、新たな担い手の確保に向け、関係機関と連携してイベントの開催や支援体制の構築に取り組めます。

室戸市の野菜を学ぼう ～吉良川小学校ピーマン収穫体験～



収穫の仕方を教える
普及指導員

6月11日、室戸市吉良川でJA高知県消費拡大連絡協議会芸東支部によるピーマンの収穫体験が開催され、吉良川小学校の全校児童48人が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は、室戸市の農産物と環境保全型農業を紹介し、ハウスでピーマンを収穫する児童を補助しました。

児童からは「ピーマンは苦手だけど自分で収穫したから食べてみる」、生産者からは「家庭でおいしく料理されて多くの人に食べてもらいたい」などの声が聞かれました。

今後も農業改良普及課室戸支所は、生産者や関係機関と連携し、管内の食育活動を支援していきます。